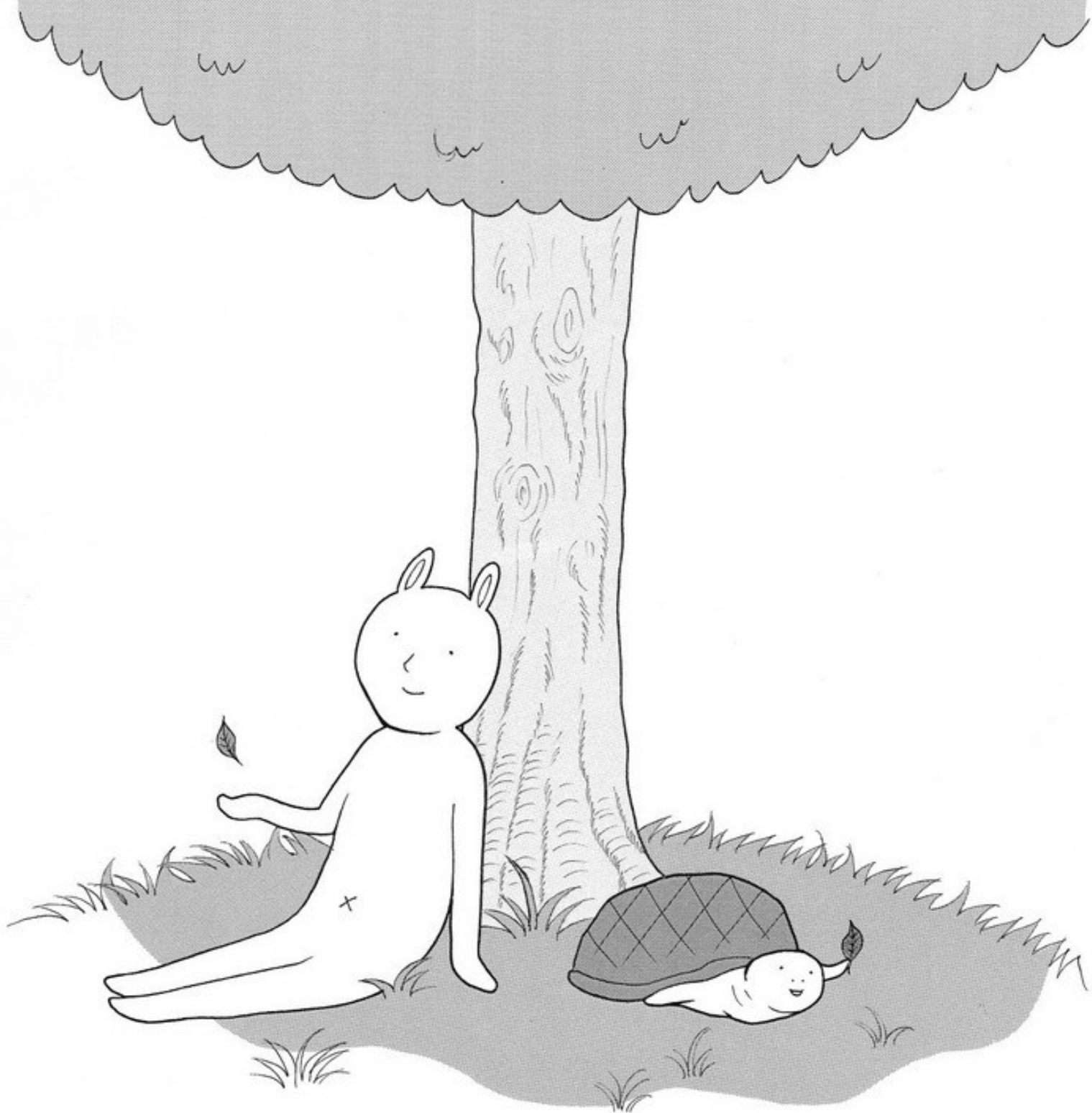


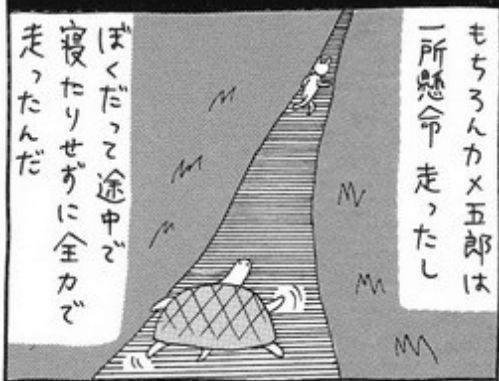
うさ助とカメ五郎



かけっこ



昔カメ五郎とぼくが
かけっこをしたとき
先にゴールしたのは
どっちだと思おう？



もちろんカメ五郎は
一所懸命走ったし
ぼくだって途中で
寝たりせがずに全力で
走ったんだ

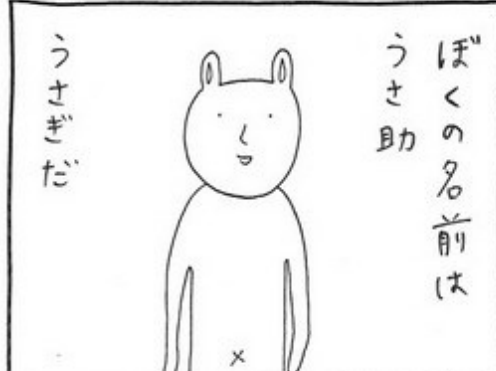


ただ君がこの日のために
半年前から走り込んで
いたのを
ぼくはゴール前に
思い出したんだ

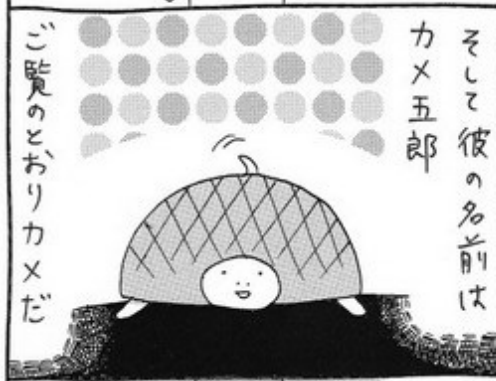


頑張り屋さんのために
一等になってぼくも
待った時間は
半日だった

うさ助とカメ五郎



ぼくの名前は
うさ助
うさぎだ



そして彼の名前は
カメ五郎
ご覧のとおりカメだ



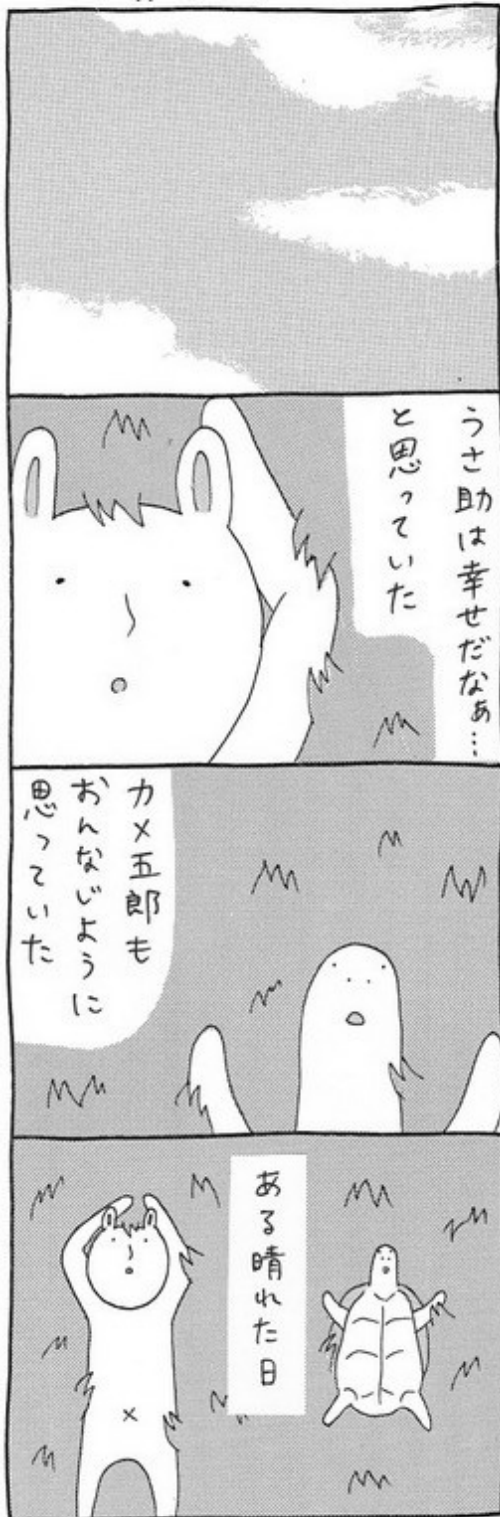
ぼくらが一緒にいると
決まっそう言われるんだ
「うさぎとカメって仲が
悪いんじゃないの？」って



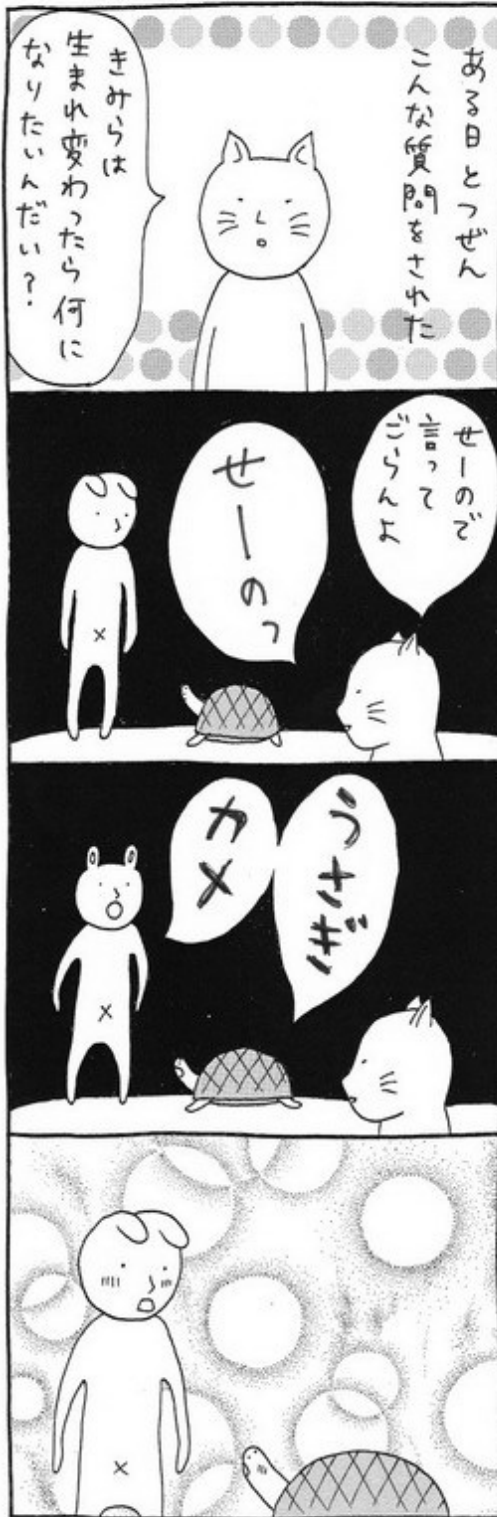
そんなことちっとも
ありゃあしない
だってぼくらは
いつだって一緒にさ

晴れた日

晴れた日



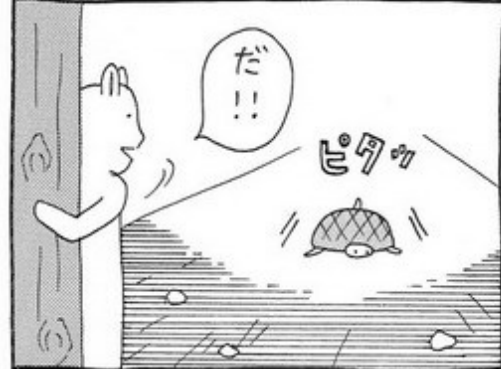
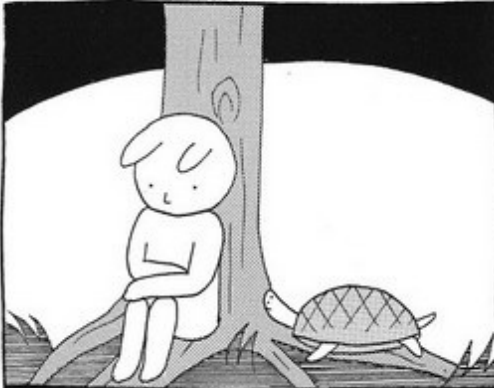
なりたいもの



だるまさんがころんだ

春

だるまんがころんだ



わしっ

だるまんがころんだ
ころん...

のそ
のそ

だ!!

ピクッ

この季節になると
カメ五郎は

ハラ
ハラ

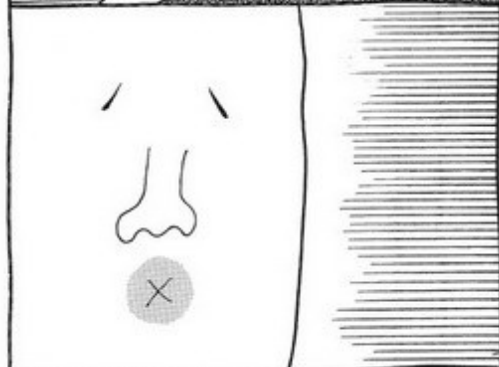
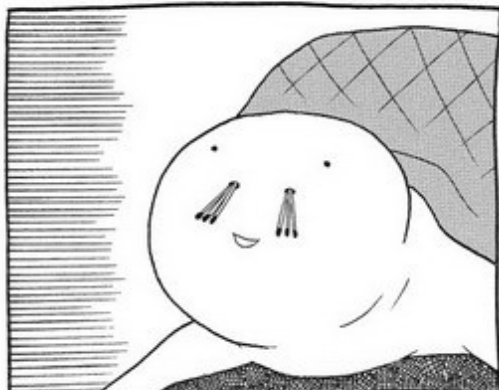
抜け毛に悩む
うさ助をいっま
なぐさめる

すり
すり

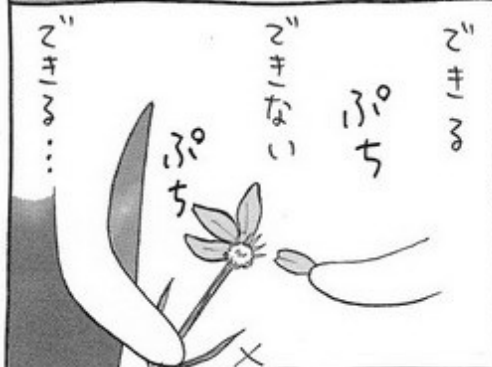
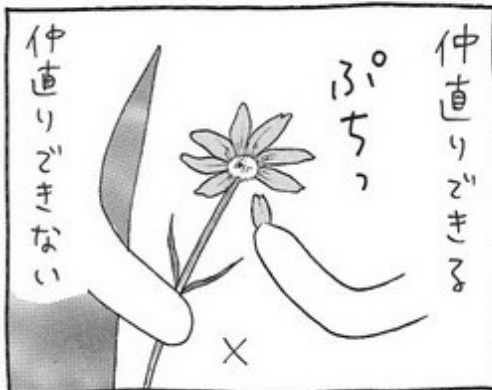
うさ助がオニになっ
て
る時間...

なかなか近付くこと
が出来ずにいた

にらめっこ



ケンカの後

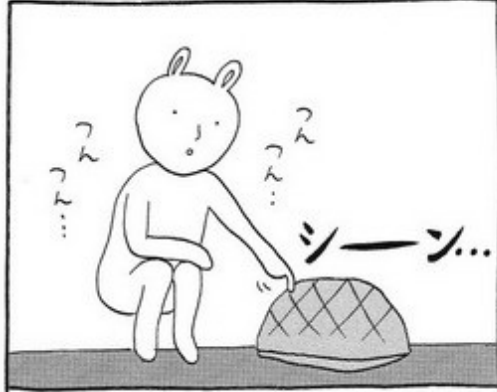


いたずら

傘



いたずら



うさ助とカメ五郎



あたたかな
春が来る
やがて
夏になり



秋になって
冬が過ぎる
それを何度も
繰り返した頃



二人はもう立派な
おじいさんうさぎと
おじいさんカメに
なっていた

うさ助はつえを
必要としたし
カメ五郎は昔より
さらにゆっくりと
歩くようになった

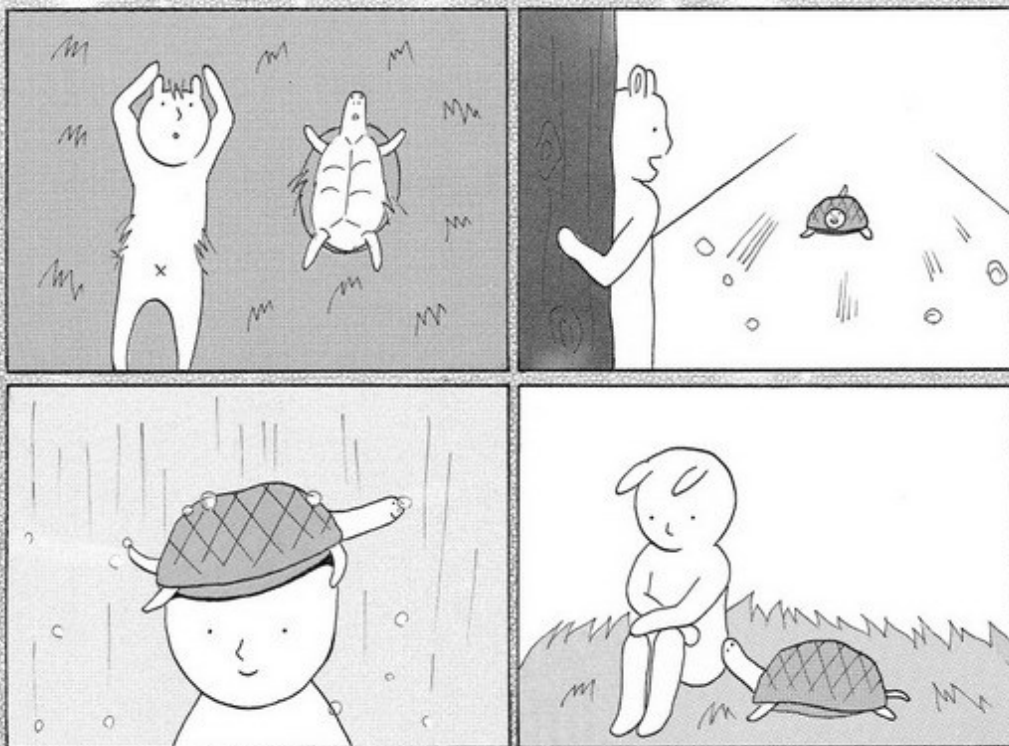
それでも二人は
相変わらず
一緒にいた



ただうさ助は
知っていたけれど

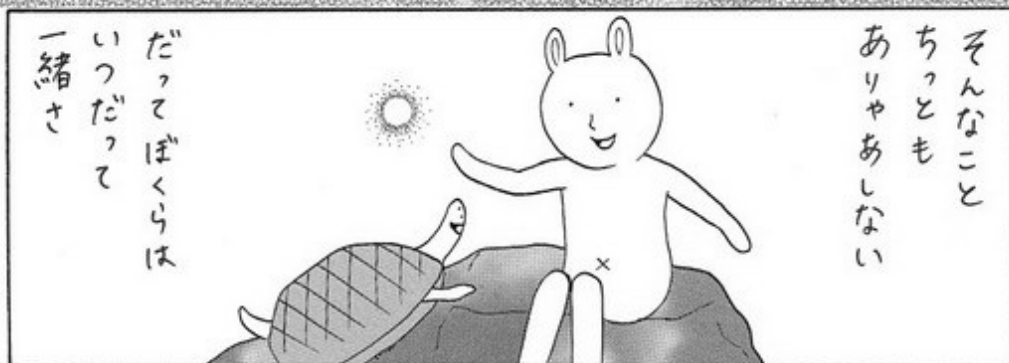
うさぎと亀の
寿命が全然
違うことを

もう
ずっと一緒に
いられないことを



「うさぎとカメは
仲悪いんじゃないの？」
って

ぼくらが一緒に
いると決まってる
こう言われるんだ



だってぼくらは
いつだって
一緒さ

そんなこと
ちっとも
ありやあしない

だーるまさんが
 こーろん…
 だ！！
 だーるまさんが

